

街角ユース

◇国府高生が布マスク製作 豊川市の国府高校家庭部などの生徒が、同校同窓会から贈られた布で全校生徒分のマスク約950枚を製作した。同部の代表生徒が24日、同校を訪れた同窓会の小田伊佐浩会長に披露した＝写真。

同窓会は4月、新型コロナウイルス感染拡大で使い捨てマスクが不足する中、在校生たちが滞りなく学校生活が続けられるようにとマスク用の布とガーゼ、ゴムひもを寄贈。1年生普通科と2年生総合ビジネス科の生徒がマスクを手作りし、家庭部の生徒が仕上げを担った。

家庭部1年の今梨紗さん(16)と林唯花さん(15)は「たくさん作るのは大変だったが、感染に気をつけながら学校生活を楽しみたい」と話していた。

